

認知症について 理解を深めよう

ID 1004334

9月21日は世界アルツハイマーデーです。認知症は誰にでも起こりうるものです。認知症について正しく理解し、認知症の本人を個人として尊重し、自分らしく生きることができる共生社会を目指すことが大切です。この機会に、認知症について知識を深めるとともに、新しい認知症観について考えてみませんか。

問 高齢福祉課 ☎ (632) 2332

新しい認知症観について知ろう

新しい認知症観とは、「認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間などつながりながら、希望を

持って自分らしく暮らし続けることができる」という、認知症の人々が尊厳を保ち、希望を持って暮らせる社会の実現を目指す考え方です。

古い認知症観

- ▼他人事、目をそらす、先送り。
- ▼認知症だと何も分からない、できなくなる。
- ▼認知症になったら恥ずかしい、隠す。
- ▼地域で暮らすのは無理。
- ▼暗い、萎縮、諦め、絶望的。

新しい認知症観

- ▼我が事、向き合う、備える。
- ▼認知症でも分かること、できることが豊富にある。
- ▼認知症でも自分は自分、自然体で。
- ▼地域の一員として暮らす。
- ▼楽しい、のびのび、諦めない、希望を持つ。

地域で認知症の人を支えるためにできること

ID 1004325

本市では、市民の皆さんが認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族が安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、認知症に関する相談窓口

を設置するなど、さまざまな事業に取り組んでいます。事業内容など、詳しくは、市HPをご覧ください。



▲市HP

9月21日(月・祝)に南図書館(雀宮町)で認知症に関するイベントを開催

1 もの忘れ相談会

- ▼時間 午前11時30分～午後1時30分。
- ▼内容 最近、認知症かもしれないと不安を感じている人やその家族のための無料相談会。相談者には、お菓ケースをプレゼント。
- ▼定員 先着20人。

2 世界アルツハイマーデー記念講演会

- ▼時間 午後2時～4時。
- ▼内容 第1部＝「脳科学でわかる認知症のご本人の思いと接し方」と題した、恩蔵絢子さん(東京大学大学院総合文化研究科特任研究員)による講演。第2部＝「新しい認知症観から考える、私たちにできることとは」と題した、恩蔵絢子さんと永島徹さん(風の詩理事長)による対談。

- ▼定員 先着300人。

- 申込期限 9月11日(必着)。

- 申込方法 市電子申請共通システムに必要事項を入力するか、電話またはファクス(氏名・ふりがな・電話番号を明記)で、高齢福祉課 ☎ (632) 2332、FAX (632) 3040へ。

ID 1004334



▲市電子申請
共通システム

出張開催

オレンジサロン

- ▼時間 午前11時30分～午後1時30分。
- ▼内容 認知症の人やその家族が情報を共有したり、交流したりする場所であるオレンジサロンを、イベント会場に出張して開催します。